

バレーボール・シューズ40足を贈呈＝フォルミーガ・UPP

ファベラの子供達にシューズ40足を贈呈
ミズノ社製バレーボール・シューズ



山元駐リオデジャネイロ総領事が、リオ市内のチジューカ地区に位置するフォルミーガ地区ファベラのUPP（州軍警察平和構築部隊。治安維持のため、現場に常駐するコミュニティ・ポリス）を訪問し、UPP施設近くの体育館でバレーボール教室に参加している子供達に対して、バレーボール・シューズ40足（ミズノ社より提供）を贈呈しました。



今回の贈呈は、日本政府によるスポーツ交流事業「SPORT FOR TOMORROW」の一環として、ミズノ社の協力を得て実施されました。寄贈式では、山元総領事から現地コミュニティを代表してフォルミーガUPPのミシェル司令官にシューズが手渡されました。

総領事館から

新しいシューズを目を輝かせて見ている子供達の顔が印象的でした。

今回、シューズが配布されたバレーボール教室には7歳から15歳までの子供達90人が週4回集まってプレーしているとのこと。これを機会にさらに多くの子供達がUPPのスポーツ・プロジェクトに参加し、4年後の東京オリンピックを目指してもらえれば本当に嬉しく思います。